

地域再生計画の進捗状況に対する評価について（事後評価）

都道府県名	三重県	事業実施主体	伊勢市	地域再生計画名	伊勢市「清らかな森と水のまちづくり、いせの水環境再生計画」
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	伊勢市環境生活部長 藤本 宏		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		達成状況に関する評価		
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績						
①地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	指標 1	汚水処理人口普及率	65.7%	H25	75.6%	H29	74.3%	85.80%	H31	78.1%	×	指標指数 達成数	汚水処理施設整備交付金の活用により、公共下水道事業の整備延長は目標の26,560m対し26,172mで98.5%の達成率となったことから、予定とおり整備を進めることはできた。しかし、個人設置型浄化槽整備事業の整備基数は、自治会への積極的な啓発活動を実施したが、目標の2,225基に対し1,185基で53.3%の達成率となった。要因としては、人口減少や消費増税に伴い新築の申込み件数が伸びなかったことから、汚水処理人口普及率の目標値に達しなかった。	
	指標 2	勢田川（勢田大橋）のBOD（生物化学的酸素要求量）75%値	4.7mg/l	H25	4.0mg/l	H29	5.4mg/l	3.0mg/l	H31	3.6mg/l	×	3	1	勢田川のBODは年間を通じて0.8～18.5mg/lまで変化をする。その原因は干満の影響や少ない自己水源、生活排水の流入があり、採水のタイミングによって大きく数値が変化する。長年の河川汚濁により河底にヘドロが堆積しているため、水洗化人口の増加がすぐに河川環境に影響を与えない。目標値は達成しなかったが、下水道の整備地区については住民説明会を工事前と工事後に行い下水道への理解を深め利用していただくよう努めたため、環境基準値（5.0mg/l）は達成し更には改善傾向にある。近年では、悪臭が抑えられ、川沿いにはレストランがでかヤックに乗って勢田川で遊ぶ方もいて、汚水処理施設整備前に比べて、より親しみやすい河川になっている。 ※H31水質は平成31年値（H31.1～R1.12）
	指標 3	伊勢神宮への参拝者数	804万人	H24	800万人	H29	880万人	800万人	H31	973万人	○			天皇皇后両陛下の伊勢への二度の行幸啓や改元を機に伊勢市や伊勢神宮に関する報道が増加したことにより、伊勢神宮への参拝者が増加した。また、汚水処理施設の整備により観光地における周辺環境および周辺河川水質が向上したことが観光客の増加にも寄与したと考えられる。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の発現状況	指標 1													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			目標の達成に対する評価及び今後の対応								
			計画	中間年度	最終実績									
	特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業（整備延長、処理場）	26,560m	11,450m	26,172m	円滑に整備を進めることで、生活環境の改善に繋げることができた。今後も、水・環境を守り住みよいまちとするため、下水道整備を推進し汚水処理人口普及率の向上に努める。								
		個人設置型浄化槽整備事業（整備基數）	2,225基	776基	1,185基	過去の浄化槽補助金交付件数から整備計画を見込んだが、新築件数が減ったこともあり、申込み件数が伸びなかった。自治会へ単独浄化槽・汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換の周知を実施し、今後も啓発に努める。								
その他の事業	地域コミュニティによる河川清掃	年に1回、勢田川沿岸において河川清掃を実施			平成31年度で参加者はおよそ2500人。河川への美化意識がもてたこと、また河川清掃により地域の方々と交流が図れたとの意見をいただき、概ね好評であった。今後も継続して実施したい。									
	小学校における汚水処理啓発	市民団体である伊勢市環境会議と協同して生活排水の啓発を市内小学校で「水生生物による水質調査」や「アクリルたわしづくり」等の出前講座を実施した。			出前講座を実施して小学生に勢田川の水環境や生活排水対策について学んでもらった。また、勢田川に生息する生き物に興味を持ってもらうこともでき、概ね好評であった。今後も継続して実施したい。									
	自治会への浄化槽設置整備事業補助金説明会	浄化槽整備区域における自治会に対し、浄化槽補助金制度と生活排水対策について実施し、補助金活用の促進と啓発活動を行った。			浄化槽設置整備事業補助金制度や生活排水対策、合併処理浄化槽について自治会向けの説明会を実施し、後日説明会出席者から補助制度を活用した合併処理浄化槽設置があった。今後も継続的に説明会を実施し、補助金活用の促進をして生活排水対策につなげる。									
④評価方法	上下水道事業審議会にて評価（※R2年7月28日開催予定）													
⑤事後評価の公表方法	伊勢市環境課のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	公共下水道事業は予定どおり整備を進めることができた一方、合併処理浄化槽の申込み件数が少なかったため、汚水処理人口普及率の目標は達成することができなかった。また、河川の水質については、目標値には達しなかったが、環境基準値（BOD：5.0mg/l）を下回っており、水生生物調査も実施できるほど改善してきている。													
⑦今後の方針等	市の広報やホームページ、自治会への周知活動等により浄化槽補助金の啓発に努め、浄化槽整備量を増やしていきたい。また、勢田川における清掃活動や水生生物による水質調査、生活排水対策啓発等を市民団体と取り組みソフト対策も一層強化していく。													